

# まだまだ続く先生と児童の二人三脚

## 育てる目 育つ芽



学校めぐりに続き、六月号から連載してきた茨小での「道徳教育の実践指導研究」も残すところ今月と来月号の二回となりました。今月号では児童六人に四つの質問をし、道徳の授業をどんなふうに感じてきたかなどを探ってみました。また、最終の来月号では、研究発表会当日の様相を追ってみたいと考えています。

今、茨小では十月十二日の発表会に向け、最後の準備作業に大忙しです。当日は、県内の先生方約二百人が二年間にわたる茨小の成果をじっくりと勉強することになっていきます。

笠原校長は「夏休み返上の紀要づくりで、この間、児童にも不自由をかけたかと思っています。しかし、子供たちはそんな環境でも、めあてを持ち、一生懸命がんばってくれました。市内の野球大会で準優勝。校内の水泳記録会では、数多くの新記録が生まれました。

これらが道徳教育にすべて結びつくとは思われませんが、子供たちの気持ちの中に、がんばることの意義が、小さいながらも芽ばえつつあるようです」と、確かな手ごたえを感じているようでした。

今年の一月に開かれた中間検討会の資料の中で、同校児童の実態

を、次のように述べています。

「もの是非や善悪の判断は徐々に身につくつつあるが、日常生活の中で児童自ら望ましい行為を行うことが少ないようです。また、ある問題を自分のものとしてとらえじっくり考え、ねばり強く解決する態度にも欠けている傾向が見受けられる」としています。

また、先生方のアンケートからは「消極的」「自主性に乏しい」「保守的」「調子にのる」が短所として上げられています。

この検討会から八か月立ちました。校長先生の話のように、目に見えて良くなっている事柄も数多く表れてきています。これからも歩みは一步一步とゆっくりですが、「望まれる児童像」をめざし、先生と児童の二人三脚は続いていきます。

### 児童に4つの質問

4年生、5年生、6年生の児童代表6人から、次の4項目について聞いてみました。

- ①道徳授業を受けて感じたこと
- ②いくつかの道徳授業の中で心に残っているもの
- ③道徳の勉強をして自分自身が変わった。あるいは学級、学校全体で変わったこと
- ④大人や社会に望むこと



発表会まであと数日。資料を検討する先生方



4年 関根 一晴君

①道徳の授業は、いろいろな本が読めるので好きです。  
②創意工夫をこらし、進んで新しい分野を開いていく「ちようしんきの発明」という話です。  
③あいさつがよくできるようになった。  
④せまい道路では車のスピードをひかえてほしい。



4年 宮本 裕美さん

①いろいろな物語やお話しが聞けて楽しい。  
②自分やほかの人の自由を尊重した行動に責任を持つ「降り出した雨」です。  
③あいさつです。  
④雨の日は徐行運転をお願いします。



5年 河田今日子さん

①まちがった心を正しくしてくれる授業だと思っています。  
②広い心で人の気持ちや立場を理解し、人の過ちをも許す「どろ海もない」です。  
③私はわからないんだけど父母が思いやりが出てきたねと思っています。  
④タバコ、空き缶のポイ捨てはやめましょう。



5年 深沢 哲夫君

①算数なんかより自分の意見がもらえるのが好きです。  
②目標実現のためには、困難に耐えて最後までやり通す「私のれん」です。  
③野球をやって、最後までがんばることの大切さがわかった。  
④ぼくたちがあいさつをしたら、大きな声でこたえてください。



6年 細川 茂雄君

①あまり感じていない。  
②互いに信頼し合い、仲よく助け合う話の「良夫のノート」です。  
③学校全体のことなんだけど、あいさつ運動に取り組んでからみんな元気で、あいさつをするようになったみたい。  
④やっぱりみんなと同じように、もう少し運転マナーを守ってほしい。



6年 中沢 明美さん

①まちがいがいいことがないので先生の質問にも気軽に答えられませんでした。  
②だれにも親切にし、弱い人や不幸な人をいたわる「最後の一片」です。  
③ミニバスの練習をなまけているので、野球部のがんばりを見習う気持ちになりました。  
④横断歩道では停車をしてください。